

用途に合った場所を選定 (加西市)

活用資源	町家
取組主体	加西市

概要

- ・加西市北条町は、約 1300 年も続く住吉神社や酒見寺^{さがみじ}の門前町として栄え、旧街道筋を中心に市場町・在郷町として発展してきた、古いまちなみが残る地区です。現在は、少子高齢化や空き家の増加等が進み、まちに再び賑わいを取り戻すことが課題となっていました。
- ・そこで、まちの賑わい創出に向けての町家の再生・活用方策などを定めた「北条旧市街地ビジョン」を作成し、それに基づいて4軒の空き店舗を市がリノベーションし、再生することになりました。
- ・そのうち1軒は、空き店舗となっていた元和菓子店を改修し、飲食業にチャレンジしたい方等が厨房を時間単位でレンタルし、実践的なお試し出店などに利用できる、ソーシャルキッチン・カフェ「O Cha no Ma (おちゃのま)」として再生しました。
- ・自分の夢を叶えるため、食を通して人とつながり、新しい商品を生み出す食に関する実験の場として、まちを想う若者が立ち上げた「合同会社ワンダーアースクリエイト」、建物の改修を担当した「カワイデザインワークス」が共同で運営しています。

ポイント

ココが
コツ!

- ・飲食店であることやこの施設がまちの賑わいづくりに取り組んでいることをアピールし、地区外の出店者と地域住民の交流やネットワーク形成を図る場とするため、交通量が多く人の目に止まりやすい交差点にある建物を選定しました。
- ・内部の様子を見えやすくし、お客さんが入りやすいようにするため、通りに面した壁はガラス張りのデザインとしています。
- ・地域の住民が慣れ親しんだまちなみを崩さないように、外観の改修は必要最低限とし、和菓子屋だった頃の店名看板もあえて残しています。
- ・まちや店に対する一人ひとりの想いを木の板に書いてもらい、うろこのように貼り付ける「1111の想いプロジェクト」は、お店づくりに協力してこの場所を創り上げる取組で、応援してくれる人の増加につながっています。



「1111の想いプロジェクト」の木片

この事例をもっと知りたい場合

加西市地域振興部きてみて住んで課

TEL 0790-42-8729

Mail kiteka@city.kasai.lg.jp

SNS @o.cha.no.ma